音声エラー検出装置・『音声』チェッカー A E D - 800 V/A ERROR DETECTION UNIT



Rev. 1. 00



	~	-ジ
1.	概要	. 1
2.	画面説明	. 2
2.	1 メイン画面	. 2
2.	2 設定値の選択	. 4
2.	3 設定値の設定・変更	.5
2	. 3. 1 しきい値設定	. 7
2	. 3. 2 マスク値設定1	1
2.	4 台数設定1	4
2.	5 IP アドレス設定1	5
2.	6 ログ保存設定1	6
2.	7 ログ表示設定1	7
2.	8 追加機能1	8
2.	9 ログ検索2	20
2.	10 ログ削除2	22
2.	11 測定レベル参照	23
2.	12 アラーム状態参照2	<u>2</u> 4
2.	13 しきい値参照2	25
2.	14 マスク値表示2	26
2.	15 システムログ参照2	27
2.	16 AEDバージョン参照2	28
2.	17 バージョン情報2	29
З.	特記事項	30
з.	1 インストールフォルダにあるファイルについて	30

本書はAED-800に添付されるソフトウェア(以下、管理ソフト)の取り扱いについて説明する ものです。

管理ソフトは、AED-800より通知される各種エラー情報のロギング、及び、AED-800に 対する調整・設定を行う機能を持っています。

管理ソフトで最大10台のAED-800を管理する事が可能です。



 $(\mathbf{8})$

2. 画面説明

2.1 メイン画面

ソフトウェアを起動した際に表示される画面です。 この画面ではエラー状況ログが表示されます。 左部のボタンから各種設定・調整メニューを選択できます。

・ 予 音声ダビングチェッカー Ver.1.0.0.0 ・ ・ ・	
 1 計定 W □ グ操作 W 情報器会照 ⊗ ヘルプ (Y) デバッグ Q) アラーム AED #1 ブルーブ 1 2 3 4 データス 無応答 初期値1 月始 停止 10期値1 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 10万((株存フォルダを開)) 110((株存)) 110((the)) 110((t	
アラーム AED #1 ジルーブ 1 2 3 4 ジーブ 1 2 3 4 ステータス 無応答 AED #1 9 AED #1 10	
③ 初期値1 第金 「可期値1 □□ヴ保存フォルダを開く 検知時間 今 ● 初期値2 初期値3 ○ ○ ●	
初期値2 初期値3 初期値5 7	
初期值3 初期值5 [1]	
初期值4 初期值5	
初期值5	
初期值6	
初期值7	
初期值8	
初期值9	
初期值10	

<u>図2.1-1 メイン画面</u>

- ① メニューバーより処理を選択します。
- ② ステータスバーに、AED-800との通信状況、管理ソフトの操作状況、 音声グループ毎のアラーム状況を表示します。

アラーム	AED #1					
グループ	1	2	3	4		
ステータス	無応答					

アラーム AED #1 グループ <mark>1</mark>234 ステータス 無応答 該当 AED-800 のトータルアラーム表示を行います 2Ch セットでグループ化し、アラーム表示します AED-800 との通信状態または実装 Ch 数を表示します

「アラーム」ボタンをクリックする事で音声の停止、グ ループのアラーム表示消去(通常表示)が行われます。 「アラーム」の色については発生回復に連動し、自動的 に更新されます。

表示例

- ③ 設定値の設定および変更を行います。
 (詳細は「2.2設定値の選択」参照)
- ④ 選択しているAED-800のエラー検出「開始」「停止」を行います。
- ⑤ エラーログの保存先フォルダを表示します。※エラー検出中は操作できません。
- ⑥ 検知開始から終了までの時間を設定し、自動終了させることができます。
 0分0秒のときは、自動終了機能OFFです。
- ⑦ エラー発生状況を逐次ログに蓄積します。
 ログ表示に使用する文言は一部「ログ表示設定」にて設定する事ができます。
 (詳細は「2.6 ログ表示設定」参照)
 また、映像比較エラーのログをダブルクリックすると、エラー画像の再生を行います。
 (詳細は「2.4 キャプチャ関連画面」参照)
- ⑧ 🔀 をクリックすると以下の確認メッセージが表示されます。

	<u> 確認</u>		
	2	終了してもよろしいですか? 終了する場合は「はい」をクリックしてください。	
		(はい) (いいえい)	
	_ をク!	リックすると管理ソフトを終了します。	
(いいえ(<u>N</u>)	をクリ	リックすると終了処理を中止し、本画面	に戻りま

⑨ 設定値の選択を行います。

(詳細は「2.2設定値の選択」参照)

2.2 設定値の選択

本画面では、AED-800へ設定するしきい値とエラー検出時のマスク値を選択します。 選択時にしきい値をAED-800に設定します。 また、設定値を他のボタンにコピーすることができます。

① 設定値の選択

AED-800へ設定したい、しきい値、マスク値が登録されているボタンをリストから 選択します。

- 1) AED-800にしきい値を設定します。この時、「ステータスバー」に設定の成否が 表示されます。
- 2) エラー検出時のマスク値を更新します。
- 3) 選択した設定値が表示されます。
- ② 設定値の設定及び、変更
 設定値を設定・変更したいボタン上でマウスをダブルクリックします。
 「2.3 設定値の設定・変更」画面が開きます。
- ③ 設定値のコピー

設定値をコピーしたいボタン上でマウスを右クリックします。 ポップアップメニューが表示されますので「コピー」→「コピー先のボタン名」を クリックします。 設定値と「設定名称」がそのままコピーされます。 「2.3設定値の設定・変更」画面を開いて「設定名称」を変更してください。

2.3 設定値の設定・変更

本画面では、AED-800に設定するしきい値とエラー検出時のマスク値 を編集・設定します。

設定	
設定名称 初期値1 □しき、値設定 入力違択 □音声レベル 上比較レベル差 □モニタ出力 マスク設定 ・メイン ・サブ □比較 2	
デフォルト設定 読込 3	564 OK キャンセル 適用

<u> 図2.3-1 設定画面</u>

① 本画面の起動

「2.2 設定値の選択画面」にてボタン上でダブルクリックして設定画面を起動します。

- ② 設定画面の切り替え「入力選択」・・・「メイン」・・の各アイテムをクリックします。
- ③ デフォルト値の読み込み

デフォルト設定 読込 ボタンをクリックします。 しきい値とマスク値が読み込んだデフォルト値に置き換わります。

④ 設定値の保存

適用ボタンをクリックしてください。※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑤ 設定値の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑥ 本画面の終了

キャンセルボタンをクリックします。

** トラックバーの操作方法 **
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼
 ▼</

2.3.1 しきい値設定

本設定の対象となる AED-800 に対するしきい値を設定します。

1. 入力選択

各チャンネルの入力コネクタを選択します。

設定						X
設定名称 初期値1						
 □-しきい値設定 □-入力選択 ○-カブンジョン 	一入力選択(メイン、	/サブ)共通				
ー 比較レベル差 ー 比較レベル差 ー モニタ出力	ch1、ch2	⊙ AES/EBU	○アナログ			
ー メイン ー サブ ー 比較	ch3, ch4	● AES/EBU	○アナログ			
	ch5, ch6	⊙ AES/EBU	○アナログ			
	ch7、ch8	⊙ AES/EBU	○アナログ			
デフォルト設定 読込				OK	キャンセル	適用

図2.3-2 しきい値設定画面(入力選択)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「入力選択」をクリックします。

② 設定値の編集

ボタンをクリックし、AES/EBU入力またはアナログ入力を選択します。

2. 音声レベル

音声レベルの高/低エラーと音声比較エラーを判断するしきい値を設定します。

設定		
設定名称 初期値1		
□-しきい値設定 入力選択 <mark>音声レベル</mark>	音声レベルエラー 最小値	最大値
- 比較レベル差	ch1 🗍 -45 dB	🗍 –5 dB
ローマスク設定	ch2 7 -45 dB	
	ch3 🔍 -45 dB	🗍 –5 dB
	ch4 🗍 -45 dB	
	ch5 🔍 -45 dB	🗍 –5 dB
	ch6 -45 dB	
	ch7 🗍 -45 dB	🗍 –5 dB
	ch8 -45 dB	-5 dB
デフォルト設定 読込		OK キャンセル 適用

図2.3-3 しきい値設定画面(音声レベル)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「音声レベル」をクリックします。

2 設定値の編集

- 1) 音声レベルエラー
 - a. 最大値

音声レベルエラーを検知する最大値を<-50>~<0>(dB)の範囲で設定します。 この値を超えると音声レベルエラーとなります。

b. 最小值

音声レベルエラーを検知する最小値を<-50>~<0>(dB)の範囲で設定します。 この値を下回ると音声レベルエラーとなります。

※ 最小値 > 最大値となる設定はできません。

3. 比較レベル

設定		
設定名称 初期値1		
□-しきい値設定 □-入力選択 □-音声レベル	音声比較:レベル差	
日本	ch1, ch2	dB
■···マスジ設定 -···メイン -···サブ	ch3, ch4	dB
	ch5, ch6	dB
	ch7, ch8	dB
デフォルト設定 読込	OK キャンセル iii	卸用

音声比較でエラーを判断するしきい値を設定します。

図2.3-4 しきい値設定(比較レベル差)

- 本画面の表示
 左側のツリー表示より「しきい値設定」→「比較レベル差」をクリックします。
- 2 設定値の編集

各チャンネルに対して、比較しきい値を設定します。 この値を基準にレベル差を判断し、しきい値を超えると音声比較エラーとなります。

4. モニタ出力

本体前面のモニタ出力コネクタから出力する信号ソースを選択します。

設定										
 設定名称 初期値1 しきい値設定 入力選択 音声レベル 比較レベル差 モニタ出力 マスク設定 	-モニタ出 ○〔 ○	カーーーー 無し 有り								
		─遅延補止 ● ch1	. 無し ○ ch2) ch3	O ch4	O ch5	() ch6	⊖ch7	🔵 ch8	
		─遅延補正 ○ch1	「有り」 () ch2) ch3	O ch4	O ch5	() chố	Och7	C ch8	
デフォルト設定 読込							OK)	<u>キャン</u>	tu (適用

図2.3-5 しきい値設定(モニタ出力)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「モニタ出力」をクリックします。

② 設定値の編集

ボタンをクリックし、モニタ出力コネクタから出力する信号ソースを選択します。

本機能は「追加機能」の音声モニタ出力機能とは干渉しません。単独で動作します。

2.3.2 マスク値設定

本設定の対象となるAED-800から発生したエラーに対するマスク値を設定します。 マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を遅らせ、 マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

設定				×
設定 設定名称 初期値1 □ しきい値設定 □ 入力選択 □ 音声レベル □ 比較レベル差 □ マスク設定 □ サブ □ 比較 □ サブ □ 比較	レイン]マスク値設定 エラー種別 レイン]音声ch1ステータス レイン]音声ch2ステータス レイン]音声ch3ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch5ステータス レイン]音声ch7ステータス レイン]音声ch3ステータス レイン]音声ch3,ch4逆相 レイン]音声ch3/ch4逆相 レイン]音声ch5/ch4ci逆相 レイン]音声ch5/ch4ci逆相	エラー詳細 無音 レベル低 レベル高 AES/EBU無し 1kHz	時間(秒) 10 10 10 10 1 1 10	
	[レイン]音声ch7/ch8逆相] 3		
デフォルト設定 読込			OK キャン	セル 適用

1. メインエラーのマスク値設定

図2.3-6 マスク設定画面(メイン)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「マスク設定」→「メイン」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。 マスクする時間(秒)を入力します。

③ マスク値のコピー

メインエラーのマスク値をサブエラーのマスク値にコピーすることができます。 メインエラーのマスク値設定後 「サブハコピー」ボタンをクリックしてください。

2. サブエラーのマスク値設定

設定			×
 設定名称 初期値1 しきい値設定 入力選択 音声レベル 比較レベルと差 モニタ出力 マスク設定 メイン 比較 	リブリマスク値設定 エラー種別 リブリ音声ch1ステータス 「サブ]音声ch2ステータス 「サブ]音声ch3ステータス 「サブ]音声ch5ステータス 「サブ]音声ch5/ch6)逆相 「サブ]音声ch7/ch8逆相	エラー詳細 時間 無音 10 レベル低 10 レベル高 10 AES/EBU無し 1 1kHz 10	
デフォルト設定 読込)	ОК	キャンセル 適用

図2.3-7 マスク設定画面(サブ)

- 本画面の表示
 左側のツリー表示より「マスク設定」→「サブ」をクリックします。
- ② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。 マスクする時間(秒)を入力します。

3. 比較エラーのマスク値設定

設定		<
 設定名称 初期値1 しきい値設定 入力選択 音声レベルル ・日転しペルル差 ・モニタ出力 マスク設定 メイン サブ 	ビ車較/その他]マスク値設定 エラー種別 ch1比較エラー ch2比較エラー ch3比較エラー ch5比較エラー ch6比較エラー ch7比較エラー ch8比較エラー	
デフォルト設定 読込	OK キャンセル 適用)

図2.3-8 マスク設定画面(比較)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「マスク設定」→「比較」をクリックします。

② マスク値の編集

マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。

2. 4 台数設定

本画面では、本ソフトで管理を行うAED-800の台数を設定します。

AED台数設定
AED台数設定
AED台数 1 🗸
設定 キャンセル

- 本画面の起動
 メニューバーの「設定」→「システム設定」→「AED台数設定」をクリックします。
- VED 台数の設定
 AED の台数をリストより選択します。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
 設定が終了しましたら OK ボタンをクリックして下さい。
 設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックして下さい。

2.5 IP アドレス設定

本画面ではAED-800のIPアドレスとコミュニティ名称を設定します。

図2.5-1 VED IPアドレス設定

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「システム設定」→「VED-IP アドレス設定」をクリックします。

② 設定値の編集

「IP アドレス」欄「コミュニティ」欄をダブルクリックし、編集モードにしてから行って ください。

③ 設定内容の保存とキャンセル
 設定が終了しましたら OK ボタンをクリックして下さい。
 設定を中止する場合は キャンセル ボタンをクリックして下さい。

2.6 ログ保存設定

本画面ではログの保存可否と保存先を設定します。

※エラー検出中は操作できません。

ログ設定
▼ログをファイルに保存する
保存フォルダ C*Documents and Settings 選択
OK キャンセル

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ保存設定」をクリックします。

② ログ保存設定

ログを保存する場合は、「ログをファイルに保存する」にチェックを付けてください。 保存フォルダの選択は選択 ボタンをクリックすると、フォルダ選択ダイアログが表示 されます。対象のフォルダを選択してください。

3	設定内容の保存とキャンセル	
	設定が終了しましたら OK	」ボタンをクリックして下さい。
	設定を中止する場合は キャンセル	」ボタンをクリックして下さい。

④ ログ保存先フォルダの表示
 「メイン画面」の「ログ保存フォルダを開く」アイコン をクリックします。
 <u>AED番号_月日_時分秒.csv</u>のログファイル一覧が表示されます。
 ログファイル名の日時は、エラー検出開始時間となっています。

2.7 ログ表示設定

本画面ではエラー発生時にログに表示する文言を設定します。

ログに表示される文言は一部、本設定外の文言が固定で付加されることがあります。

ログ表示設定						
回復時のログは、発生エラー	ログ中の文言"発生"また	:は、"異常"を"回復"に置	き換えて表示します。			
名称	項目2	項目3	項目4	~	「アラームログ表示	設定
[又イン]音声ch1	「メイン」音声ch1 無音発				項目名	表示文字列
[xイン]音声ch2	「メイノ音声ch2 無音楽	[メイン]音声ch2 しべル/	Elseイン」音声ch2 しべし		無音	[メイン]音声ch1 無音発生
「メイン」音声ch3	「メイン」音声ch3 無音楽	「メイン」音声ch3 レベルイ	E[メイン]音声ch3 レベルi		レベル低	
[メイン]音声ch4	[メイン]音声ch4 無音発	[メイン]音声ch4 レベル([メイン]音声ch4 レベルi			「又イン」音声ch1 しべし高発生
	[メイン]音声ch5 無音発		E[メイン]音声ch5 レベルi			「メイン」発売abl AFS/EBIL毎I
レイン]音声ch6	レイン音声ch6 無音発	[メイン]音声ch6 レベル(EメインI音声ch6 レベルi		11.05	
[メイン]音声ch7	レイン音声ch7 無音発	[メイン]音声ch7 レベル(Eメイン音声ch7 レベルi			LX4 / J目声CHI IKH2光王
[メイン]音声ch8	[メイン]音声ch8 無音発	[メイン]音声ch8 レベル(EVインI音声ch8 レベルi			
[メイン]音声ch1/ch2逆相	[メイン]音声ch1/ch2 逆	ŧ				更新 やりなおし
[メイン]音声ch3/ch4逆相	[メイン]音声ch3/ch4 逆	ŧ				
[メイン]音声ch5/ch6逆相	[メイン]音声ch5/ch6 逆	ŧ				
[メイン]音声ch7/ch8逆相	[メイン]音声ch7/ch8 逆	ŧ				
[サブ]音声ch1	[サブ]音声ch1 無音発生	[サブ]音声ch1 レベル低	[サブ]音声ch1 レベル高	2		
[サブ]音声ch2	[サブ]音声ch2 無音発生	[サブ]音声ch2 レベル低	[サブ]音声ch2 レベル高	2		
[サブ]音声ch3	[サブ]音声ch3 無音発生	[サブ]音声ch3 レベル低	[サブ]音声ch3 レベル高			
[サブ]音声ch4	[サブ]音声ch4 無音発生	[サブ]音声ch4 レベル低	[サブ]音声ch4 レベル高			
[サブ]音声ch5	[サブ]音声ch5 無音発生	[サブ]音声ch5 レベル低	[サブ]音声ch5 レベル高	2		
[サブ]音声ch6	[サブ]音声ch6 無音発生	[サブ]音声ch6 レベル低	[サブ]音声ch6 レベル高	2		
<u>[サブ]音声ch7</u>	[サブ]音声ch7 無音発生	[サブ]音声ch7 レベル低	[サブ]音声ch7 レベル高	2		
[サブ]音声ch8	[サブ]音声ch8 無音発生	[サブ]音声ch8 レベル低	[サブ]音声ch8 レベル高	2		
[サブ]音声ch1/ch2逆相	[サブ]音声ch1/ch2 逆相					
[サブ]音声ch3/ch4逆相	[サブ]音声ch3/ch4 逆木					
[サブ]音声ch5/ch6逆相	[サブ]音声ch5/ch6 逆札					
<u>[サブ]音声ch7/ch8逆相</u>	[サブ]音声ch7/ch8 逆相					
音声ch1比較エラー	[音声ch1]音声比較エラ	•				
音声ch2比較エラー	【音声ch2]音声比較エラ					
音声ch3比較エラー	l音声ch3)音声比較エラ					
首声ch4比較エラー	【音声ch4】音声比較エラ					
首声ch5比較エラー	音声cho 音声比較エラ					
首声ch6比較エラー	l音声ch6]音声比較エラ					
首戸ch/比較エフー	「音声の小音声比較エラ					
首声ch8比較エフー	(音声ch8)音声比較工う			×		
			>			
						[問]"み]

図2.7-1 ログ表示設定画面

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ表示設定」をクリックします。

- ② 変更の方法
 - ・左側項目欄の該当行をクリックで選択します。
 - ・右側項目の表示文字列欄をダブルクリックし、編集モードにし、編集します。
 - ・色の変更は右側表示文字列欄をクリックしたうえで右クリックし、ポップアップメニュー

から 文字色変更② を選択します。

- ・編集・変更が終了しましたら、必ず 更新 をクリックします。
- ③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

2.8 追加機能

本画面では AED-800 に対する音声モニタ出力の自動切り替えやエラー発生時の音声出力 などを設定します。

追加機能
 ✓ 音声モニタ出力の定期自動切り替えを行う 遅延補正区分を選択します ● 遅延補正無し ● 遅延補正有り エラー未発生時、ここで設定した時間経過毎にモニタ出力を切り替えます。(1~99) 10 秒 ✓ エラーが発生したチャンネルに音声モニタを切り替える(単独で動作します) エラー発生時のチャイム音設定
音声エラー検出時のお知らせ用チャイム音を設定します。
C:¥WINDOWS¥Media¥chimes.wav 選択
☑繰り返し再生する
設定 キャンセル

<u> 図2.8-1 追加機能画面</u>

- 本画面の起動
 メニューバーの「設定」→「追加機能」をクリックします。
- 2 設定内容

(1)「音声モニタ出力の定期自動切り替えを行う」チェック

チェックを付けると以下条件に基づいて音声モニタ出力を設定時間で切り替えます。

(a) 遅延補正区分

「遅延補正無し」を選択した場合はメイン/サブ音声をそのまま出力します。

「遅延補正有り」を選択した場合はメイン/サブ音声の遅延を合致させてから出力します。

(b)エラー未発生時、ここで設定した時間経過毎にモニタ出力を切り替えます。

実装チャンネルを1チャンネル順番に切り替えるサイクル時間を設定します。

(c)エラーが発生したチャンネルに音声モニタを切り替える

音声エラーが発生したチャンネルに自動的に切り替えます。

(1)のチェックに関わらず動作します。

チェックが付いている場合は(b)時間経過後、定期切り替えに遷移します。

- (2)「エラー発生時のチャイム音設定」
 - (a)音声ファイル指定

音声エラーが発生した際に鳴動する音声を指定します。

選択できる音声ファイルは WAV, MP3, WMV の3種類です。

(b)繰り返し再生するチェック

チェックを付けると AED パネルをクリックするまでチャイム音を繰り返します。 (c)「再生」「停止」

(a)で選択したチャイム音を1回だけ再生します(視聴機能)

設定が完了したらをクリックします。

③ 本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.9 ログ検索

本画面ではログ抽出のための条件設定を行います。

ログ検索		
検索ログ	選択 AED #1	×
┌検索条(⊧設定(AND条件となります	-)
□検	8日時指定 開始 2008	8/12/03 19:25:01 🛃 終了 2008/12/03 19:25:01 🐳
□+	- ワード(内容)指定	
		検索開始キャンセル
	図2	

① 本画面の起動

メニューバーの「ログ操作」→「ログ検索」をクリックします。

- ② 検索条件の指定
- 1)検索ログ選択

検索するログの種類をリストより選択します。

a. エラーログを検索

「2.2 設定値の選択」画面にて選択した設定名称を選択します。

- b. システムログ(システム情報)を検索 「システムログ」を選択します。
- 2) 検索条件の指定

以下の条件指定が可能です。条件指定を行う場合は、各条件項目にチェックを付けてください。 チェックが付いていないと、条件指定は無効となります。

a. 検索日時指定

「開始」「終了」に検索したい日時を入力します。

b. キーワード(内容)指定

ログの「内容」欄に含まれる任意の文字を入力します。

③ 検索結果の表示と保存

	検索開始	■ ボタンをクリックしてください。「ログ検索結果」画面が表示されま	ま。	
ø	ログ検索結	果 [DV CAM(VAD #1):2008/03/17 13:40:05 ~ 2008/03/17 13:48:38] 63件		X
7	マイル(Z)			
	タイムコード	内容	リアルタイム	~
Þ		チェックを(手動)開始しました [DV CAM]	13:40:06	
	99;99;99;99	<main> 525i になりました</main>	13:40:06	
	99;99;99;99	<main>VITCなしです</main>	13:40:06	
	99;99;99;99	_{525i Ictaりました}	13:40:06	
	99;99;99;99	_{VITOなしです}	13:40:06	
	99;99;99;99	〈映像比較〉 位相変化 発生 しました 同位相】	13:40:06	
	99;99;99;99	<cha> 位相変化 発生 しました 同位相</cha>	13:40:06	
	99;99;99;99	<chb> 位相変化 発生 しました 同位相</chb>	13:40:06	
	99;99;99;99	<chc> 位相変化 発生 しました[2フレーム遅れ]</chc>	13:40:06	
	99;99;99;99	<main> 1chレベル高 発生 です [タイムコード (99,99,99,99)]</main>	13:40:18	
	99;99;99;99	_{1chレベル高 発生 です [タイムコード (99,99,99)]}	13:40:18	
	99;99;99;99	<main> 2chレベル高 発生 です [3イムコード (99,99,99,99)]</main>	13:40:23	
	99;99;99;99	_{2chレベル高 発生 です [タイムコード (99,99,99)]}	13:40:23	
	99;99;99;99	<main> 8ch無音 発生 です[タイムコード 09,99,99,99)]</main>	13:40:26	
	99;99;99;99	_{3ch無音 発生 です [&イムコード (99,99,999)]}	13:40:26	
	99;99;99;99	<main> 4ch無音 発生 です[タイムコード (99,99,99)]</main>	13:40:30	

「ファイル」メニュー → 「保存」をクリックすると、ログ検索結果を保存できます。 「ファイル」メニュー → 「終了」をクリックすると、本画面を終了します。

④ ログ検索の中止

キャンセルボタンをクリックします。

2.10 ログ削除

本機能では、取得したログデータを削除します。 本機能に画面は存在しません。

① エラーログの削除

メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「アラームログ」をクリックします。 ※エラーログの削除は、データベース上のデータが削除されるのみで、保存したCSV ファイルは削除しません。

② システムログの削除
 メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「システムログ」をクリックします。

2.11 測定レベル参照

/ます。
/ます

測定レベル参照	×
要求を行うAEDを選択してください	
AED #1 👽 要求実行	
レメインJ音声ch2レベル(dB)	
[リノ]音声Ch2(2へ)(/(dB)) [メイン]発言(k9) (xm)(/(dB))	
[ソイン]音声dhfpマバ(db)	
レインJ音声chillyベル(dB)	
[サブ]音声ch5レベル(dB)	
[サブ]音声ch6レベル(dB)	
レイン)音声ch7レベル(dB)	
[メイン]音声ch8レベル(dB)	
[サブ]音声ch7レベル(dB)	
[サブ]音声ch8レベル(dB)	
[音声比較]ch1遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch2遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch3遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch4遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch5遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch6遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch7遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch8遅延量測定値(ms)	
	閉じる

図2.11-1 測定レベル参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「測定レベル参照」をクリックします。

- ② 測定レベルの取得・表示
 要求実行 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了閉じる ボタンをクリックします。

2.12 アラーム状態参照

アラーム状態参照	X
要求を行うAEDを選択してくださ	¹ 1.1
AED #I	委不关门
名称	値
AEDステータス	
レメインJ音声ch1ステータス	
レメイン)音声ch2人ナーダ人 「メイン)辛害ab9フテータフ	
[メイン]音声Ch3人) = 3人 [メイン]音声ch4ステータス	
[メイン]音声ch5ステータス	
[メイン]音声ch6ステータス	
[メイン]音声ch7ステータス	
[メイン]音声ch8ステータス	
レメイン1音声ch1/ch2速相	
レメイン」音声cn3/cn4連相 「メイン」音声sh5/sh6逆相	
[メイン]音声ch3/ch0逆相 [メイン]音声ch7/ch8逆相	
レンジョン したい しんし と Hall しんし しんし と Hall しんし しんし と Hall しんし しんし と Hall しんし しんし と Hall しんし しんし しんし と Hall しんし しんし しんし しんし しんし しんし しんし しんし しんし し	
[サブ]音声ch2ステータス	
[サブ]音声ch3ステータス	
[サブ]音声ch4ステータス	
[サブ]音声ch5ステータス	
「サフ」皆声ch6人ナータ人	
[リフ]音声ch7人ナータス [サブ]音声ch8フテータフ	
[サブ]音声chi/ch2逆相	
[サブ]音声ch3/ch4逆相	
[サブ]音声ch5/ch6逆相	
[サブ]音声ch7/ch8逆相	
<u>ch1比較エラー</u>	
ch2比較エフー Lughtest エニー	
ch5比較エラー	
ch6比較エラー	
ch7比較エラー	
ch8比較エラー	

本画面では、AED-800のアラーム状態を取得・表示します。

<u>図2.12-1 アラーム状態参照画面</u>

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「アラーム状態参照」をクリックします。

- アラーム状態の取得・表示
 要求実行 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。 2.13 しきい値参照

AED #1	• [要求到	実行	
項目名称		値	備考	
[入力選択]ch1/ch2				
[入力選択]ch3/ch4				
[入力選択]ch5/ch6				
[入力選択]ch7/ch8				
[レベル]ch1最大しきい値				
ルベルJoh1最小しきい値				
ルベルJch2最大しきい値				
レベルJch2最小しきい値				
レベルJoh3最大しきい他				
レベルJoh3最小しさい他				
ILベルJch4歳入しさい他				
ILIベルJCN4歳小しざい地				
LレヘルJCNO取入してい他				
ロハル」にも成小しまい値				
LL/N/JCHU現入CBN/IE [L.MUL]ab6是小L 寺い値				
ロバッルにも7星大にまい値				
しべいたち最小にまい値				
レベルIch8最大しまい値				
しベル]ch8最小しきい値				
[比較]ch1/ch2しきい値				
[比較]ch3/ch4しきい値				
[比較]ch5/ch6しきい値				
[比較]ch7/ch8しきい値				
モニタ設定				
Traplこよるエラー通知				

本画面では、AED-800のしきい値を取得・表示します。

図2.13-1 しきい値参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「しきい値参照」をクリックします。

② しきい値の取得・表示

要求実行 ボタンをクリックします。

「値」欄には設定実値を、「備考」欄には設定内容を表示します。

③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

2.14 マスク値表示

本画面は、AED-800のマスク値を取得・表示します。

マスク値参	照			X
:	要求を行うAEDを選択して AED #1	ください	亜戎宝行	
			323(561)	
	項目名称			<u> </u>
	レメインJoh1 無音			_8
	レインJoh1 レベル低			_
	レメインJohl レベル商			_
	LX1 Jichi AES/EBU			_
	レメインJCNI IKHZ			_
	レスインJonz 無音 「シンCulaka Logituff			_
	UX1 ZJCh2 U/N/JIG			_
				_
	[_
	レインJoh2 1K12			_
	IV-12-10-10 LATUR			_
	レイン1663 レベル高			_
	レインIch3 AFS/FBII無			
	[x-1'2]ch3 1kHz			
	レイン]ch4 無音			
	[メイン]ch4 レベル低			
	[メイン]ch4 レベル高			
	[メイン]ch4 AES/EBU無			
	[メイン]ch4 1kHz			
	[メイン]ch5 無音			
	[メイン]ch5 レベル低			
	[メイン]ch5 レベル高			
	[メイン]ch5 AES/EBU無			
	[メイン]ch5 1kHz			►
				閉じる

図2.14-1 マスク値表示画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「マスク値参照」をクリックします。

② しきい値の取得・表示

要求実行ボタンをクリックします。

「値」欄に設定実値を表示します。

③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

2.15 システムログ参照

本画面では、システムログの参照を行います。

🎸 システムログ参照		×
日付時刻		~
2008/03/17 13:50:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 13:55:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:00:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:05:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:10:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:13:27	しきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:15:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:20:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:37	設定値が変更されました。[HD CAM]	
2008/03/17 14:21:39	Lきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:43	設定値が変更されました。[HD CAM]	
2008/03/17 14:21:45	Lきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:21:54	設定値が変更されました。 [HD CAM]	
2008/03/17 14:21:56	しきい 値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:25:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:30:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:35:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	
2008/03/17 14:40:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]	~

図2.15-1 システムログ参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「情報参照」→「システムログ参照」をクリックします。

② 本画面の終了区 をクリックします。

2.16 AEDバージョン参照

本画面では、AED-800のバージョン情報を表示します。

AEDパージョンチェ	ック	×
AEDバージョンラ 確認を行う AED #1	Fェックーーーーー AEDを選択してください ・ 確認	
項目 ファームウ ハードウェ	バージョン エアVer TVer	
	/ 開じる	
	<u></u>	

図2.16-1 AEDバージョン参照画面

① 本画面の起動

メニューバーの「ヘルプ」→「AED バージョン」をクリックします。

- ② AEDバージョン情報の取得・表示
 確認 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

2.17 バージョン情報

本画面では、管理ソフトのバージョン情報を表示します。



図2.17-1 バージョン情報画面

- 本画面の起動
 メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。
- 本画面の終了
 本画面をクリックします。

3. 特記事項

3.1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。 手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い 上げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお 手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは	
販売店:	
TEL	
担当	

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

₹959-0214

新潟県燕市吉田町法花堂1974-1

TEL:0256-93-5035

FAX:0256-93-5038